



能登やさしいこめづくり情報

播種編

**播種から田植えまで1か月以内
になるよう計画！**

令和8年2月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
J A は く い

1 播種計画

◆播種日は田植え予定日に合わせて設定し、健苗を田植えできるように計画

- ・育苗期間は1か月以内としましょう（表1）。
- ・育苗期間が長く、葉齢が進んだ苗（老化苗）は、分けつしにくく、優良茎を確保できなくなります。

【表1 田植え予定日と適正な育苗日数の目安】

浸種	3月24日	3月31日	4月9日	4月17日	4月24日
催芽	4月4日	4月10日	4月18日	4月25日	5月1日
播種	4月5日	4月11日	4月19日	4月26日	5月2日
田植	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日
育苗期間	27日間	25日間	22日間	20日間	19日間

2 種子消毒

◆種子に付着している病原菌を死滅させ、育苗期間の病害を回避するため、種子消毒剤が吹付されていない種子は種子消毒を実施

- ・薬液は種子の2倍量を準備しましょう。
- ・気温が高い日は芽が伸びすぎる恐れがあるため、浸漬時間に注意が必要です。

【表2 種子消毒における薬剤の適用（参考）】

薬剤名		使用時期	希釈倍率	処理方法	浸漬時間	薬液温度
テクリードCフロアブル（1成分）		浸種前	200倍	浸漬	24時間	10～15℃
又は タフブロック （0成分）	蒸気式育苗器で催芽	催芽前	200倍	浸漬	24～48時間	10～15℃
	浸漬で催芽	催芽時	200倍	浸漬	24時間	30℃

3 浸種

◆発芽揃いを良くするため、低温（10℃以下）での浸種は行わない

- ・特に浸種後24時間の水温は必ず10～15℃を保ちましょう。
→低水温で浸種を開始すると、その後の水温が適温になっても発芽率が低下する可能性があります（表3）。
- ・高水温（20℃以上）では十分に吸水しないうちに発芽が始まり、発芽ムラの原因となるので注意してください。
- ・浸種は直射日光や風が当たらない場所で実施してください。

【表3 浸種初日の水温と発芽率の関係】

浸種初日の水温（24時間）	その後の水温	発芽率
低水温（10℃以下）	10℃～15℃	×
適温（10℃～15℃）	10℃以下	△
適温（10℃～15℃）	10℃～15℃	○

◆酸素欠乏を避けるため、浸種水量は種籾の2倍以上とし、2日に1回程度水を交換

- ・酸素を供給し、発芽阻害物質を取り除くために、2日に1回程度水を交換しましょう。
- ・薬剤吹付済種子は、最初の3日間は水を交換しないで下さい。

◆浸種の積算温度(水温×浸種日数)は100～120℃

【表4 浸種日数の目安】

水 温	浸 種 日 数
10℃	10～ <u>12日</u>
15℃	7～ <u>8日</u>

注目!

- ・**R7年産種子は休眠が深い傾向**にあります。
本年は**積算温度120℃を目安に浸種**しましょう。
- ・浸種終了の目安は、籾殻の上から胚が
白く透けて見えるようになった頃です。

積算温度が不足すると発芽が不揃いに!

4 催 芽

- ・催芽では、発芽に最適な温度を与え、発芽を揃えましょう。
- ・芽は1mm以上伸ばさないようにしましょう(表5)。
- ・催芽揃いを良くするため、袋の中心部と外側で水温差を生じさせないように、袋に詰める種籾量は半分程度にしましょう。

【表5 催芽程度と催芽日数】

水温	催芽程度	催芽日数	注 意 事 項
30℃	鳩胸～ 1mm未滿	1日～ 1日半	<ul style="list-style-type: none"> ・芽を伸ばしすぎると、芽が絡まり、播種ムラの原因となります。 ・芽が伸びすぎた場合は冷水に浸し、伸長を止めて下さい。

ハト胸



伸びすぎ



5 播 種

◆品種ごとの播種量の目安について

- ・品種によって播種量が異なりますので、播種機の設定に注意しましょう。(表6)

【表6 品種ごとの播種量】

品 種	乾籾重 (g/箱)	催芽籾重 (g/箱)
ゆめみづほ	120	156
コシヒカリ	120	156
ひゃくまん穀(大粒)	145	189

※ 密苗・密播の場合、専用の田植機が必要です。
→通常の田植機で厚播きの苗箱を使うと植付け本数が過剰となり、品質が低下します。

◆床土量やかん水量は、使用する培土に合わせる

- ・JAで取扱う軽量型培土は、従来品と比べ床土量、覆土量、かん水量が異なります。
- ・苗立枯病を防ぐため、「ダコニール1000」の500倍液を500ml/箱、散水処理下さい。

※ 種子消毒で「タフブロック」等の微生物農薬を使用した場合は、「ダコニール1000」は使用できません。

6 出 芽

◆出芽器を用いた加温出芽では適温の30℃に設定

- ・芽を伸ばし過ぎると、軟弱で病気に弱くなります。【表7 加温出芽の目安】
- ・32℃以上の高温になるとリゾープス菌などが繁殖し苗立枯病の原因となります。

出芽温度	出芽日数	芽の長さ
30℃	2～3日	8～10mm程度

◆無加温出芽(平置き出芽)では出芽揃いまで

保温資材で被覆保護

- ・保温資材で昼夜被覆し、高温日には30℃以下になるようハウス換気をして下さい。
- ・およそ5日程度で出芽が終了します。その後は慣行の緑化作業を行って下さい。